

静岡県浜松地域

多様なFSC®認証材の流通拡大による クリーンウッド社会の実現

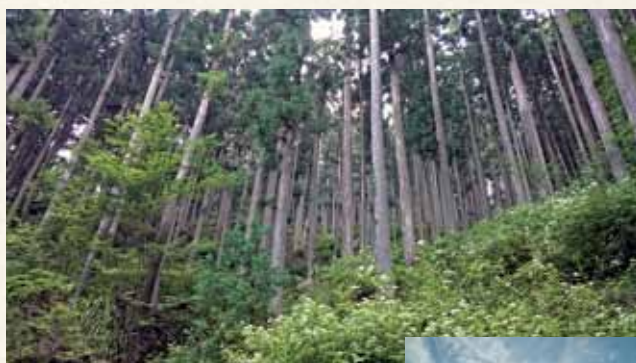
静岡県浜松地域の取組



1 浜松市における 森林・林業行政

本市は約16万ヘクタールという広大な面積を有しており、その約3分の2が森林です。浜松市天竜区及び北区引佐町地域の一帯は、その温暖な気候や河川交通路としての天竜川が存在などから、古くから林業が盛んでスギ・ヒノキを中心とした美しい人工林が形成されています。その美しさは「天竜美林」と呼ばれ、日本三大人工美林のひとつと称して、全国的な知名度や評価も高いです。

本市では、この価値ある森林資源を、持続可能な森林経営・管理を通じて循環利用していくために、平成22年に取得し



▲日本三大人工美林のひとつ天竜美林

▶天竜美林から伐り出された天竜杉

たFSC®認証を核として、様々な施策に取り組んでいます。

FSC認証は国際的な認証制度であり、世界的な祭事や式典において認証紙や認証材が使用され、本年開催予定の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においても競技施設等に使用されることとなっています。また昨



今では、FSC認証の推進は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)への貢献につながるものとして、環境配慮や社会貢献意識の高い企業からも注目を集めており、認証材利用の機運の高まりが感じられます。

2 浜松地域の 林業成長産業化 地域構想

本構想によって目指すところは、本地域が、我が国におけるFSC認証のトップランナーとしてFSC認証材・認証製品の流通・拡大を通じて、合法伐採木材の利用100%によるグリーンウッド社会を実現させることです。

ポイント①

「木材利用の拡大無くして、素材生産量は増加しない」森林整備は進まないことを前提にした、出口対策、すなわち木材需要の開拓や木材の流通・販路拡大に重点を置いたもの。

ポイント②

本来のあるべき姿である、エンドユーザー起点のFSC認証製品サプライチェーンの構築により、川上から川下までの事業者にも多くの利益や雇用を生み出すもの。

ポイント③

地域の「素材生産」・「製材・加工」・「木材流通」のキープレイヤーが一体となった、大型木材会社依存しない地域(全国的に多い都市部モデル)を形成すること。



適切に管理されたFSC認証材

多様なFSC認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現

～実現のための施策～

FSC森林認証制度を核にして、浜松方式の「森林資源の循環利用+ONE」による施策を展開していく。

【施策の柱】

- ① 品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給
- ② 需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産
- ③ 「地産地消」・「地産外需」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大
- ④ 需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築
- ⑤ 次代の林業・木材産業を担う人材の育成



ポイント④

「森林資源の循環利用+ONE」として、従来の循環利用に、「創る(イノベーション)」という新たなプロセスを導入したものです。

3 構想の実現に向けた取組

本構想における数々のプロジェクトの中から、特徴的な取組を2つ取り上げて説明します。

(1) FSC 認証材の利用・発信

本市では、学校施設をはじめとした公共施設に FSC 認証材を積極的に利用するとともに、FSC プロジェクト認証を活用し、認証材利用を対外的にアピールしています。

この対外的にアピールするということが非常に重要であり、FSC 認証材利用から、さらなる次の利用を生むための呼び水となります。木材利用を拡大していくためには、「利用する」と同等に、「発信する」ことが必要不可欠だといえます。



平成 30 年度天竜材セールスミーティング



平成 30 年度にプロジェクト認証を取得した浜名中学校 (FSC の机椅子)



ジャパンホーム&ビルディングショー 2019 への出展



参画事業者の若手社員のみで出展した WOOD コレクション (モクコレ)



選手村ビレッジプラザへの納材出発式

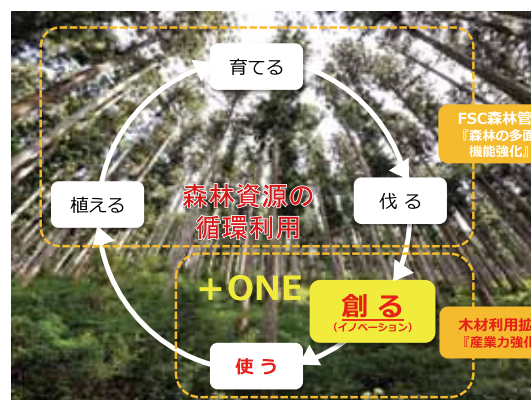


公共建築物として全国初のプロジェクト認証を取得した天竜区役所



大手オフィス家具メーカーと連携して開発した FSC 認証製品

「森林資源の循環利用+ONE」



公共施設への FSC 認証材利用の発信については、このプロジェクト認証が有効な手段であり、これを進めてきたことによって、「浜松市 FSC 認証材利用」という全国的な認知度も高まったと感じています。

(2) 都市部をターゲットとした地産外商

では、地産地消はもちろんのこと、地産外商が重要です。その中でも、消費者が多く、多くの木材消費量が見込める首都圏等の都市部への外商は今後の大きな鍵となってきました。

今後取り組むべき課題として、都市間連携・交流が挙げられます。これまで説明した、FSC 認証材利用の発信や都市部への地産外商を通じて、首都圏や関西圏、中京圏等の都市部との交流を深め、天竜材や天竜材製品の供給量拡大、また、浜松市の森林フィールドを活用した森林環境教育等の取組を増やし、関係人口、交流人口を拡大していければと考えています。

それによって、本地域のさらなる林業・木材産業の成長産業化につながると考えています。

天竜材(FSC認証材)・森林フィールド活用等による都市間連携・交流



4 これからの課題

のトップセールスにより天竜材を全国に売り込むセールスミーティングを実施するなど、全国の木材関連業者などに向けての天竜材の認知度向上や新たな交流の創出、大手企業や都市部の自治体の方々との情報交換の機会を増やしています。

今後取り組むべき課題として、都市間連携・交流が挙げられます。

これまで説明した、FSC 認証材利用の発信や都市部への地産外商を通じて、首都圏や関西圏、中京圏等の都市部との交流を深め、天竜材や天竜材製品の供給量拡大、また、浜松市の森林フィールドを活用した森林環境教育等の取組を増やし、関係人口、交流人口を拡大していければと考えています。